10　家庭

学校番号	T1204

令和２年度　家庭科

教科	家庭	科目	ファッションデザイン	単位数	２単位	年次	2～4年次
使用教科書	ファッションデザイン　（実教出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

〇ファッションデザインに関心をもち、積極的に取り組みましょう
被服製作に関する知識と技術を身に付け、ファッションをデザインし日常生活に生かす能力を育てます。積極的・意欲的に実習等に取り組みましょう。

２　学習の到達目標

ファッションデザインの基礎、発想と表現法などに関する知識と技術を習得させ、ファッションを創造的にデザインする能力と態度を育てる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	服飾制作を通して、ファッションデザインに対する関心をもち、役立てようとする創造的・実践的な態度を身に付けている。	服飾制作に関する理論を学習し、自ら思考を深め、創意工夫する能力を身に付けている。	被服製作に関する技術を学習し、被服を能率的に製作できるようにする。立体構成に関する技術を習得する。	作品のデザインや製作に必要な基本的な知識を身に付けている。
評価方法	・出席状況 ・提出物 ・平常の学習活動 ・学習態度 ・自己評価 等	・安全作業への留意 ・作業内容における用具類の選択 ・被服製作の技法やデザインの基本的な知識を活用し、生活に生かそうとする実践的な態度 等	・被服製作における技法などの基礎的・基本的技術が身につき、計画に従って製作できる能力 ・作品類のできばえ 等	・被服製作における工程の理解 ・技術の応用 ・提出物 等
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
4・5・6月	デザイン	○オリエンテーション ・科目内容を理解する ○ファッションデザインの基礎 ＊デザイン画 ○色彩学	○ ○ ○ ○	 ○ 	 ○ ○	○ ○ ○ ○	a:デザインの基礎や色彩学に関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:与えられたテーマに対するイメージをまとめ、デザイン画などで表現している。 c:デザイン画制制作を通して、基本プロモーションや基本的な着装表現、彩色方法などの表現方法を身に付けている。 d:ファッションデザインの基礎や色彩に関する基礎的な知識を理解している。	・授業観察 ・ワークシート ・作品制作の取組状況確認 ・作品提出 ・定期考査
7・9・10月	ハーフパンツ	＊ハーフパンツ製作 ＊立体構成	○ ○	○ 	○ 	○ ○	a:ハーフパンツ製作や立体構成について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:ハーフパンツ製作において課題を見いだし、その解決をめざして考え、表現している。 c:作品製作を通して、採寸や裁断、縫製などの基本的な技術を身に付けている。 d:構成技法に関する基礎的な知識を身に付け、それをファッションデザインに活用する意義を理解している。	・授業観察 ・ワークシート ・作品製作の取組状況確認 ・作品提出

11・12月	トートバック	＊トートバック製作 ＊ステンシル	○	○	○	○	a:トートバック製作に関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:製作計画を立て、その製作過程で課題を見出して判断し、ステンシルで自分らしさを表現している。 c:リバーシブル作品の縫製やステンシルに関する基本的な技術を身に付けている。 d:トートバック製作やステンシルに関する基礎的な知識を理解している。	・授業観察 ・ワークシート ・作品制作の取組状況確認 ・定期考査
1・2月	包装材料	＊包装材料のデザイン画制作 ＊レジン・プラバン小物製作	○	○	○	○	a:包装材料のデザイン画について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:アパレルメーカーなどのコンセプトに合った包装材料をデザインし、自分らしさを表現している。 c:作品製作を通して、レジンやプラバンを用いた小物製作に関する基本的な技術を身に付けている。 d:レジンやプラバン関する知識を身に付け、それを服飾に活用する意義を理解している。	・授業観察 ・ワークシート ・作品制作の取組状況確認 ・作品提出

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:技能　d:知識・理解

※　＊は、ワークショップ、実習・実験など実践的・体験的な学習活動や問題解決的な学習活動を示している。

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。